平成29年6月1日（年1回・6月発行）

さむかわ 自治会だより

第49号

編集発行
寒川町自治会長連絡協議会
自治会だより編集委員会

将来を見据えた夢あるまちづくりに取り組むために

大規模地震の発生に備えて多くの地域住民が参加した、寒川町総合防災訓練。

寒川町自治会長連絡協議会 会長 **斎藤正信**

現在、私たちを取り巻く環境はさまざまな課題を抱えております。その中で自治会の役割は、地域での活動を基本としながらも、町全体の将来を見据えた提案や取り組みも求められています。

例えば、高齢化社会が進行する中で、生産年齢人口の確保や若い世帯の増加は、将来の町財政確保のためだけでなく、自治会や地域活動の活性化を図ることや寒川町の歴史や文化を維持・継承及び推進することにおいても最重要課題ではないでしょうか。

そのためには自治会としても子どもたちに対する支援は欠かせない課題です。子ども会支援や地域交流会の開催などは魅力ある支援のひとつであると思います。また、学校環境や学力レベルの良し悪しは、若い方々が住まいを選ばれる際に大きな要因として位置づけられることだと思います。

一方、高齢化社会に対しても、安心安全な環境づくりや世代間交流などの充実、災害時に備えて日頃からの防災活動など継続した取り組みは欠かせません。

自治会活動のある一端を述べてきましたが、自治会活動を通して、民生委員・児童委員をはじめ、各種団体との連携などのつながりを強化し、自治会の立場でさまざまな課題を把握し、地域からまちづくりを提案し、具体的に取り組んでいくことが求められていることと思います。

寒川町の面積や人口は、まとまりやすく、行動しやすく、結果のすぐ見える規模ではないでしょうか。

自治会としては、自治会加入率の向上と会員サービスの充実に取り組み、安心安全なまちづくりを基本に、「寒川に住みたい」「寒川に住んでよかった」と思ってもらえるような夢あるまちづくりに取り組んでまいります。

今後とも、自治会と寒川町自治会長連絡協議会に対するご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

目次は2ページ目にあります。

自治会の活動報告

寒川町の各自治会ではより住みよい地域としていくため、お祭りやサロンなど住民同士の交流を深めるためのふれあい行事、日頃の生活に欠かすことのできないごみ集積所の清掃や管理、誰もが安心できるよう防災訓練や防犯活動を行っています。自治会だよりでは町内全２２自治会それぞれが地域の特色を活かして実施しているさまざまな活動の一部を紹介します。

中瀬自治会

中瀬自治会の活動報告について

中瀬自治会は旧中瀬村を母体としその後、東に発展し現在では会員数四百十世帯で構成されています。中瀬自治会には景観寺や中瀬大神といった中瀬村からの伝統を受け継いで夏祭りやどんど焼き等に取り組んでいます。催事には婦人会、子ども会、いきいきサロン、消防第10分団に協力をいただいています。

平成28年度は恒例の盆踊り大会、子供神輿の巡行に加えて盛岡県人会の皆様方を招き、盛岡さんさ踊りも披露する事ができました。

また自主防災対策、安心・安全対策、環境整備等に対しても町の協力もいただき改善しています。

自主防災対策では、「自らの身は自ら守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」を基本理念に、住みよい地域づくりを目指して活動しています。

このような地域づくりには、日頃からの自治会活動に積極的に参加、交流することが必要だと考えます。また、引っ越して来られた方への自治会加入促進も課題になっていますが、自治会活動をご説明し理解を求め、自治会加入に結びつけ、地域の絆をさらに深めていきたいと思います。

新橋アパート自治会

平成28年度防災活動

平成27年度に防災倉庫の改修を行いましたが、記録にない機材もあり、改めて使用点検しました。

車椅子や台車などタイヤの付いているものは空気が抜けていることに気がつき、中には特殊な空気入れでないと入れられ

目　次

◆会長あいさつ……1
◆自治会の活動報告
中瀬自治会……2
新橋アパート自治会……2
宮山南部自治会……3
越の山住宅自治会……3
大曲自治会……3
新町自治会……4
小動自治会……4
菅谷台自治会……5
一之宮東自治会……5
小谷自治会……5
一之宮西自治会……6
岡田もくせいハイツ自治会……6
田端自治会……6
大蔵自治会……7
一之宮北自治会……7
宮山自治会……7
岡田東自治会……8
岡田西自治会……8
筒井自治会……9
倉見自治会……9
県営寒川もくせいハイツ
第二自治会……9
◆自治会加入ご案内……10
◆自治会マップ……10

ないことが判明しました。また、台車も路面が凸凹であると使用できないということにも気が付きました。

自主防災訓練では屋形テント、非常用トイレテント、ドームテントを組み立てました。接合部にマークを付けていなかったためもたつき、改めて準備の大切さを学びました。皆の記憶を頼りになんとか組み立て、撮った写真で手順表を作り、テントの中に保管しました。

自主防災組織は十年目を迎え、寒川町では避難行動要支援者きずなプランもできあがり、要支援者を組み込んだ組織再編の年となりました。

宮山南部自治会
自治会活動について

当自治会の広域避難所は寒川総合体育館に指定されています。しかし、時期によっては神社参拝者等の観光客の避難も予想されます。自分の身は自分で守るという姿勢も重要かと思います。自主防災訓練では役場や商工会女性部の協力のもと、老若男女、参加者同士談笑も交えながらもお互いの家の防災対策の意見交換など和やかに行われました。

近い将来には起こると言われている大地震のため、自治会でも総合体育館や役場と連携し、マニュアルや防災機材を整えています。今後も少しでも安心できる体制を作っていきたいと思います。

また、古くから地域に伝わる伝統行事である寒川神社例大祭、宮山神社例祭、浜降祭への協力を毎年行っています。少子高齢化やライフスタイルの変化があっても、それぞれが協力しあい、住民同士つながりを持てる場でありたいと思っています。

越の山住宅自治会
自治会活動について

当自治会は、会員約二百八十世帯、十四組の構成になっています。多くなった高齢者が、学童の登下校時の見守りや、週一度の買い物支援活動を頑張ってくれています。

また、例年のように老人会と子ども会が共同で、5月にバーベキュー、10月に芋煮会を行い、それぞれに五十人ほどが参加し賑やかになりました。これらの会で、地震の時に身を守る行動を、図を用いて子ども達に説明し、防災教育もしました。

10月末には自治会の防災訓練を実施しました。

今回の訓練では、安否確認のために、安全カードを玄関に掲示する訓練を二つの組を選び、その全世帯で実施しました。カードが掲示されなかった世帯には見回りメンバーが訪問して状況を確認しました。平成29年度には全戸にカードを配布して、災害時にはそれを近隣同士で確認しあい、安否確認に役立てたいと思います。

また、平成28年12月からスタートした避難行動要支援制度については、自主防災メンバーを中心にして近隣世帯による支援体制の充実を図ります。

大曲自治会
地域のつながり「絆」を大切に！

「向こう三軒両隣」「遠くの親戚より近くの他人」と言う言葉がありますが、確かに何か事が起これば、頼りになるのはご近所です。その頼りになるご近所に、どんな人が住んでいるかもわからない。話もしたこともない。では、いざと言うときどうしますか？

少なくとも、ご近所付き合い程度はしていないと、発災時に何の協力体制も取れないのではないでしょうか。これが自治会組織の原点です。

そこで大曲自治会では、地域のつながり「絆」づくりに向けた事業を数多く展開しています。

まず平成26年度からスタートしたふれあいサロン「おこじゅうの会」があります。この会はジュニア（小中学生を中心に幼児）、シニア（中高年者）で毎月一回実施しています。

シニアの活動では、湘南保育園の園児を招き交

流を図りました。
　また、ジュニア・シニアの合同開催では、夏休み期間に、大曲地域集会所でラジオ体操とさむかわｗａｋｕｗａｋｕ体操を二週間に渡って実施し、老若男女が一堂に会して清々しい朝を迎え、笑顔で健康への取り組みを行っております。
　災害対策では「大曲まちかど防災訓練」で例年の訓練に加え、さむかわ災害ボランティアネットワークのご指導のもと、炊飯袋による炊き出し訓練を行い、初めての体験者は目から鱗のようでした。また、寒川町商工会女性部が制作された使用済み段ボール箱を利用した簡易トイレの展示も行い好評でした。

　安全・安心事業では昨年発足した「防犯・交通・環境パトロール隊」も隊員の地道な活動が評価され、平成28年度寒川町交通安全・防犯町民総ぐるみ大会で、感謝状をいただくことができました。
　今後も大曲に住んで良かったと言われる事業を展開していきます。

新町自治会　さむかわ夏祭り

　平成28年の春、岡田西自治会長より「駅前公園を活用して何か夏まつりを開催しませんか」との誘いがありました。
　当自治会でも以前には盆踊り大会を開催していましたが、時代の変化と共にいつの間にか消えてしまいました。開催を望む会員の声を後押しに共催に踏み切りました。
　寒川町観光協会の協力も得ることができ、「子どもからお年寄りまで幅広い世代が集い、楽しめる盆踊りを通して町を元気に、そして町内外からの誘客を進め、町の活性化と発展につながるために」を目的に夏祭り実行委員会を立ち上げました。

実行委員会議では
○開催費用は？
○参加人数は？
○盆踊りに必要な櫓は？
○広報活動は？　等々
　会議を重ねるごとに、難問が山積しました。でも「まずは初回、やってみなければ何もわからない、やってみなければ結果は出ない」との考えが一致。祝日となった８月11日、山の日に「さむかわ夏祭り」の開催を決めました。
　当日は「寒川町レクリエーション協会民謡部」「岡田まつり囃子保存会」をはじめ、地域の協力者等々のご尽力をいただき、予想を遥かに超えた集客となりました。
　「盆踊り」のために事前に用意した、手ぬぐい・うちわ・子ども用のお菓子・アイス、そして「ビール祭り」では生ビール等が不足する事態ともなり、嬉しい誤算でした。
　今後の課題も多々ありますが、この第一回目開催の教訓や課題を踏まえて、「さむかわ夏祭り」が末永く地域の恒例行事として開催されることを願っています。

小動自治会　年間活動報告について

　当自治会は、三百八十四戸十八組で構成しています。
　５月25日のチャレンジデーには、老人会と共催で健康作りとスポーツ振興を目的に集会所・神社境内でｗａｋｕｗａｋｕ体操を実施しました。
　７月21日～27日には、小動神社境内で町の体育指導員のもと、夏休みラジオ体操を実施しました。
　７月31日には、自主防災訓練を行い、被災状況確認訓練として安否確認プレートの玄関先掲出を全戸対象で実施しました。掲出率は48％で、自分の身を守る意識の向上が課題です。地域力をより高めるためには、地域や消防団と連携して、個別訓練を組み込んだ模擬防災訓練への取り組みが必要になります。

　10月16日には、小動神社祭典があり、当日は晴天に恵まれて子ども神輿が出発し、18時から奉納演芸（小動囃子太鼓、寒川神社相模雅楽演奏、相模里神楽奉納）が行われ、大勢の人々でにぎわいました。
　11月6日には第十五回ゲートボール大会を実施し、おむすびと豚汁の無

料配布などに役員全員で取り組みました。多数の住民参加により、相互の親睦が深まりました。

1月中旬には、どんど焼きを行い、無病息災をお祈りしました。

地域集会所も築三十二年を経過し、改修・建替が今後の課題です。

少子・高齢化の進んでいる当会では、地域のつながりを深めながら、和やかな雰囲気作りと世代間交流を大切にして、今後も活動してまいります。

菅谷台自治会

自治会活動の基本は「親睦」から

当自治会は現在九十九世帯と小さな自治会です。住宅団地ができてから五十年以上経過しており、高齢化が極端に進み、自治会の年間行事に参加できる人も年々減少しているのが現状です。

レクリエーションでは過去にボウリング大会や歩け歩け大会などを行っていましたが、高齢化に伴い、参加者が少なくなり、昨年は高齢者サロン「なごみ会」が月に一回、室内ゲームなどを行ったのみとなってしまいました。

防災についても非常避難時の水・食糧の備蓄は賞味期限切れのものも多く、処分方法と補充は自治会で取り組んでいく必要があります。

防災活動をはじめ、自治会活動を進めていくために一番大事なことは会員相互の理解と協力です。会員の親睦を深める行事を取り入れていく必要を感じました。

誰でもが参加できる軽いお茶会や食事会などを行い、お互いの親睦を深める場を多く持っていけたら良いのではないかと考えます。

一之宮東自治会

人と人のつながりを大切にした自治会活動

一之宮東自治会では、「一之宮東自治会だより」を毎年二回発行しています。

これは一之宮東自治会の会員の皆様に、少しでも自治会活動内容を理解していただくために、目に見える情報誌として刊行しております。

例年、実施する自治会総会の様子や内容、相模川美化キャンペーンの様子、普通救命講習会、6月と9月の一之宮東農園の収穫祭、町総合防災訓練、南小学校での南まつり、どんど焼き、目久尻川美化キャンペーンなどの様子や取り組みをお知らせし、ご理解いただくものであります。

また、「自主防災訓練」を10月16日（日）に開催いたしました。これまで自主防災訓練は、役員だけで実施しておりましたが、平成28年度、全自治会会員を対象に、子どもからお年寄りまで参加できる自主防災訓練に転換しました。

タオルを使った安否確認、車いすを使った要援護者救出訓練、町消防署や一之宮消防分団による災害時の毛布を使った担架づくり、寒川町日本赤十字奉仕団による三角巾を使った救護の仕方、茅ヶ崎寒川にんじんの会による火を使わない副食づくり、寒川町商工会婦人部による段ボールトイレの作り方、町防災担当による防災の心得、さらには東自治会防災部会炊き出し班による炊飯訓練等を実施いたしました。

さまざまな課題も見つかり今後も継続していくことを、自主防災部会で確認しあいました。

昨今、人と人との希薄化が叫ばれている中で、このように日頃から自治会活動や地域活動に参加し、交流を図ることが、いざと言うときに役立ちます。人とのつながりを大切にした自治会活動を推進していくことが重要だと思います。

小谷自治会

新春を寿ぐ

松飾りが見守る中、小谷自治会三大行事の一つである「新春の集い」が、年明け早々の平成29年1月7日（土）に開催されました。

例年、主会場である小谷地域集会所では、①餅つき&つきたて餅の振る舞いと②大鍋仕立てのアツアツ芋煮の提供を、サブ会場である寒川ホーム駐車場では、③チビッ子独楽回し大会が恒例です。しかし、今回は開催の間際にノロウィルスの全国的流行が報道され、急遽、餅つきを中止し切り餅を用いたお汁粉に内容変更せざるを得ませんでした。

絶好の日和に恵まれ、朝早くからのスタッフの

努力の結晶である振舞い品（お汁粉・芋煮）が順調に仕上がりました。舌鼓を打つ中、集会所２階のベランダでは寒川獅子舞いの会による演技が披露され、新春に華を添えました。振舞い品の販売は好評を博する中で完売の札を掲げ、サブ会場には当年度の独楽回しチャンピオンの誕生を祝う子ども達の歓声が響き渡りました。直前の催事内容変更にも慌てない小谷自治会の結束力を改めて感じた一日でもありました。

一之宮西自治会

自主防災組織結成十周年を迎える

一之宮西自治会防災組織は防災専門部会組織として十年となりました。

地域の協力者によって組織化され、現在六十四名の会員となり、当組織の任期はなく健康である限り活動を致しております。

これまで高齢と住居移転で五名の方が離れましたが、新たに加入された中では、中高生や女性の方もおり頑張って活動を致しております。

活動計画や予算は自治会より独立部門として組まれ毎年度の計画や報告を専門部会総会において決定いたします。特に毎年防災活動報告書として冊子の全戸配布を行い、防災の意識の高揚と併せて活動報告を致しております。

年二回の機材定期点検をはじめ、８月には一之宮小学校体育館宿泊訓練を、10月第４日曜日は「一之宮西自治会防災の日」と定め、防災訓練を実施します。

そのほか12月には町内街頭消火器点検、１月には地域交流だんご焼き＆芋煮会の開催などに取り組んでおります。

昨年度は十周年を記念し、初めての防災県外視察と、オリジナル帽子の作製を致しました。また平成26年度の子ども会結成以来、応援団として各種イベントなどに協力してきました。

防災専門部会として地域とのつながりを果たしながら一歩一歩推進を致しております。

岡田もくせいハイツ自治会

防災講演会を開催

平成28年12月11日の日曜日、環境美化活動の終了後、当自治会では組長を対象に防災講習会を開催しました。町危機管理課の職員や消防署の署員に講師となってもらい、防災に係るお話や機器の操作等を学びました。

平成28年度に購入した簡易トイレや数年前に購入した発電機の使用方法を改めて学び、災害時の心構えや対応を新たにすることができました。

主に組長を対象として開催しましたが、それ以外の参加者も多く集まり、盛大に開催することができました。

当自治会は県営住宅という特殊性から、高齢者の比率が非常に高く、自治会活動に参加できない人が年々増えています。

地震等の災害があった場合、どこまで対処できるのかが最大の懸念です。

同じ県営住宅の自治会である県営寒川もくせいハイツ第二自治会、新橋アパート自治会とは将来的に連係して防災に対する対応ができればと思っております。

田端自治会

みんなで祝う敬老会

田端は町の南端にあって豊かな自然が残る地域です。一方、南北に走る産業道路と旧県道、東西には藤沢大磯線と湘南銀河大橋、そして圏央道寒川南インターと交通至便な地域でもあります。

こうした中、田端自治会では、４月の桜まつりから始まり、５月の戦没者慰霊祭、８月の盆おどり、10月の敬老会、11月の自主防災訓練、２月の子ども・高齢者〝昔の遊び〟交流会、そして毎月

の交通安全・防犯パトロールと、地域住民が安心して楽しく暮らせるようにと活動をしています。

今回紹介します〝敬老会〟は、七十五歳以上の皆さんを地域集会所にお迎えし、料理やアトラクションで和やかに楽しんでいただきます。集会所の窓辺に接した特設ステージでは、大正琴の演奏、さわやか倶楽部のダンス、マジックショー、それに歌&トークショーと会場は大きな拍手と笑いで盛り上がりました。テーブルには御馳走が並び、太鼓愛好会と子供育成会からは庭先でついたばかりの紅白祝モチが振る舞われ、オール田端でお元気な長寿を祝いました。

こうした行事が高齢者に優しい地域づくりの一つになっています。

大蔵自治会
地域のつながりを基本に

当自治会では、11月12日（土）に「第七回ふれあいスポーツ大会」を大蔵青少年広場において開催いたしました。大蔵消防分団、長寿会、子ども会、地域会員皆様のご協力により百名余りの参加をいただきました。

この大会は、スポーツを通じて地域のつながりと親睦を深めるとともに、「絆の強化」を図ることを目的に毎年開催しております。

当日は絶好のスポーツ日和。低学年からお年寄りまで約二時間に渡ってグランドゴルフを楽しみ、ホールインワンを達成する方が多く出るなど、大変にぎわいました。

その後はバーベキューです。生産農家よりお米やさつまいもなどを寄付していただき、子ども会のお母さんたちには羽釜での炊き出し訓練も行いました。

年齢を超えたスポーツと炊き出し訓練で一汗かいた後でおにぎりをほおばりながらバーベキューを囲み、会員同士の交流を深め、和やかに大会を進めることができました。

地域住民間の安否確認や湘風園との合同避難訓練などの行事を通じて「地域のつながり」をさらに深めてまいりたいと思います。

一之宮北自治会
一之宮北自治会 防災訓練

当自治会は地区見直しに伴い、一之宮北自治会として平成28年4月1日から新たなスタートを切りました。

11月13日（日）に一之宮北自治会防災訓練を一之宮公園にて実施いたしました。当日は天候に恵まれ参加人数は百二十名でした。寒川町危機管理課・消防本部・一之宮消防分団・茅ヶ崎警察署・商工会女性部のご指導をいただき、「消火訓練」「段ボールトイレづくり」「応急手当」「煙体験」「炊き出し」などの訓練内容でした。また、子ども達には「身近な日用品で防災グッズを作ろう」も体験してもらいました。

参加者の皆様方にアンケートを取りましたところ、多くの方が訓練内容は良かったとのご意見をいただきました。

超高齢化社会を迎えるにあたり、「災害時の要支援者支援」「地域活動」「子ども支援」などの取り組みを進めていきたいと考えております。

今後も多くの方に参加いただき、地域の皆様と自主防災活動の取り組みをはじめ、魅力ある地域づくりを進めてまいります。

宮山自治会
昔ながらのだんご焼き

正月も過ぎ、1月中頃になると宮山では、町内会ごとに正月飾りを集めて燃やす「だんご焼き」（どんど焼きとも言われています）の行事が行われます。

各家庭でだんごを作り

木の枝にだんごを刺し、正月飾りを燃やした火でだんごを焼き食べると無病息災の効果があると言われております。また正月に書き初めをしたものを燃やし空にまいあがることにより上達するとのいわれもあります。

しかし、なぜ「だんご」なのでしょうか？

古くはこの地方は養蚕が盛んであり、この繭玉に見立てて「だんご」を作り、木の枝にさして養蚕の豊作を願った行事だそうです。木の枝に刺した「だんご」は日がたつと乾燥し保存食にもなるわけです。

どこの家庭でも正月飾りはやられておるようでかなりの量が集まります。

このような古くからの行事がこれからも長く続くように祈っております。

岡田東自治会

自主防災訓練及び体験実習

10月29日（土）に自主防災訓練を岡田地域集会所にて行いました。

寒川町役場の危機管理課、寒川消防本部や岡田消防分団及び茅ヶ崎警察署の指導のもとで

①消火器使用訓練

②ＡＥＤを用いた緊急時の人命蘇生訓練

③自治会で作成した消火器配置マップをもとに、東自治会の地域内消火器配備位置の確認を行いました。

特に消火器の確認は初めて実施しました。配置場所、薬剤の有効期間、消火器設置の有無を参加者全員で確認し、発災時、直ちに使用できるかどうかを確認しました。

また11月7日（月）には、岡田東・西自治会の合同で立川防災館まで見学体験実習に行きました。二十四名の参加者が地震体験装置で震度7を体験し、その怖さや凄さを、十分理解しました。地震後の火災防止のためのガス栓、ブレーカを切る訓練に加えて室内火災が起きた場合に備えて、煙からの避難訓練をしました。

今後は、自主防災訓練と体験実習を組合せ、自治会員の防災に対する意識の向上に努めたいと考えています。

岡田西自治会

防災は備えから

昨今、日本各地で災害が発生しています。もし身近に起きた場合、被害を最小限度にするにはというテーマで、毎年当自治会では防災訓練視察研修を行っております。

平成28年度は、「防災はまず心構えから、そして慌てない、そのためには経験から」ということで、東京西部の立川市にあります東京消防庁立川防災館へ行きました。

さすがに単独型体験館だけあって余裕の広さと充実した内容ぶりにビックリ。ガイドさんの説明の後に、防災シアター（視界一杯に映像が広がり臨場感たっぷり）次に地震体験室（三次元でテーブル・椅子が揺れてリアル）そして煙体験室（煙で満ちた多数の室内を避難）と参加者全員が楽しみながら学習ができ、時間があっという間に過ぎました。

災害の恐ろしさと災害時には落ち着いて判断することの大切さを、言葉で言うより、本で読むより実体験が一番と改めて確信しました。

３・11東日本大震災から数年経ちましたが、われわれがすべきことは「備えがあれば減災できる」と言うことと、将来発生する可能性がある災害に対しても対応できる心の準備の必要性を改めて認識いたしました。

これからも発災時の被害を最小限度にするためにも継続していきます。

筒井自治会

災害時の安心・安全を地域の協力で

当自治会では、自主防災組織活動と連携し「災害時安否確認制度」を設けて、会員の安全確保を目指しています。

自然災害が多い我が国で、減災に繋げるには平時から自身や家族の安心・安全を確保できる訓練が必要です。

約五世帯ずつを一チームとし、チームの安否確認者が、いざという時にチーム員の安否確認を行うという仕組みです。

このチームには「避難行動要支援者」も含まれており、チーム内で情報を共有し、いざという時に対応できるよう考えています。

制度をつくり、日頃からの声掛けや毎年の防災訓練時に安否確認訓練を行うことにより、実効性の高い仕組みになると思います。

中でも名簿のメンテナンスは重要で、平時に一番時間と手間がかかる作業です。しかし、会員の安全・安心のため毎年更新をしていきます。

現在97％の会員が参加していますが、一部不参加の方もおられます。その方々にも声かけし、より多くの仲間に助け合いの輪が広がることを望んでいます。

倉見自治会

納涼盆踊り大会について

自治会事業の中でも8月に実施した納涼盆踊り大会は、動員数、予算ともに最大であり、私達の親世代も参加していた伝統ある事業です。地域の方々や、団体等のご協力を得ながら実施する倉見の伝統行事と言えるものでもあります。

実施に際しては、実行委員会を開催し、催物の企画や関係団体との調整を経て、さらに天候にさえ気を張りつつその日を迎えます。

当日は、自治会主催とはいえ、倉見地域全体で作り上げた賜であるとの感慨がひとしおであります。

倉見囃子保存会の太鼓で踊りが始まり、ヨーヨー、バルーン等の出店、抽選会などでにぎわい、また踊りの休憩時間には、地域の神輿会（倉輿会）が、神輿の場内巡回でにぎわいを盛り上げています。

この事業を通し、地域の親睦を深めて自治会が抱える防災、環境等の諸課題へも、より良い影響をもたらすことを願います。

倉見の将来へ伝えたい事業であると感じた次第です。

県営寒川もくせいハイツ第二自治会

高齢化対策

社会的な少子高齢化が進む中、当自治会での七十歳以上の状況は百八十名（平成28年8月末現在）で、割合は20．9％です。寒川町の平均は約17％となっており、それを大きく上回っています。

このような状況の中、自治会では年老いても健康でいられるように、健康寿命対策に積極的に取り組んでいます。

高齢者をいかに外出に連れ出すことができるかがポイントです。具体的には、老人会・カラオケ倶楽部・卓球クラブ・健康麻雀クラブ等への入会を進めています。

自治会事業の一つとして、集会所での敬老会を紹介します。

第一部は二名によるハーモニカのミニコンサートでした。童謡・唱歌・懐メロと素敵な演奏に歌声喫茶のように皆で口ずさんでしまいます。

第二部は六名による絢爛歌謡ショーでプロ歌手・舞踊の名取・カラオケの先生等により、華やかな美しさで舞い・歌ってあっという間に時間が過ぎました。最後には有志による炭坑節を踊り終演となりますが、今回はカラオケの飛び入りもあって、敬老会は大いに盛り上がりました。

自治会に加入しましょう

町内には２２の自治会があります。自治会では、住民の生活に欠かせない活動（防災活動、避難行動要支援者、ごみ集積所の管理と清掃活動、防犯活動など）、住民同士の交流を深めるための活動（各種行事、高齢者ふれあいサロンなど）を実施しています。皆さんが住んでいる地域を住みやすくするために自治会に加入しましょう。

自治会マップ

※自治会への加入につきましては、お住まいの地域の自治会長へ直接ご連絡ください。

田端自治会	田端	岡田東自治会	岡田、岡田3～5丁目、岡田8丁目	小谷自治会	岡田、岡田5～7丁目、大蔵、小谷、小谷1～4丁目
一之宮東自治会	一之宮1丁目、一之宮8～9丁目、中瀬	岡田西自治会	岡田、岡田3丁目、岡田5～6丁目	小動自治会	小動
一之宮西自治会	一之宮、一之宮2～8丁目	新町自治会	一之宮1～2丁目、岡田、岡田3丁目、大蔵、小谷、宮山	宮山自治会	岡田、小谷、宮山
一之宮北自治会	一之宮1～5丁目	越の山住宅自治会	岡田8丁目	新橋アパート自治会	宮山（新橋アパート内）
一之宮ソフィア自治会	一之宮7丁目（一之宮ソフィア茅ヶ崎内）	岡田もくせいハイツ自治会	岡田7丁目（寒川もくせいハイツ内）	宮山南部自治会	一之宮、宮山
中瀬自治会	一之宮1丁目、中瀬	県営寒川もくせいハイツ第二自治会	岡田7丁目（寒川もくせいハイツ内）	倉見自治会	倉見
筒井自治会	中瀬	菅谷台自治会	岡田7丁目		
大曲自治会	大曲	大蔵自治会	岡田、岡田7丁目、大蔵、小谷、小谷1丁目		

自治会に関するお問い合わせは、

寒川町協働文化推進課協働担当（７４－１１１１　内線２７１・２７２）まで